

補正予算の 主な質疑

健康と福祉の里構想
竹田委員 子育て支援や健康づくり等の機能充実に向けた追加調査とのことだが、町の出生率向上への効果も期待できるのか。

健康福祉課長 子育てをしながら働ける場所や仕組みをつくるなど、産み育てやすいまちづくりの推進を、このセンターを中核として行っていきたい。



改修を待つ福祉の拠点

杉の再造林、三鷹市との連携協定
佐々木委員 三鷹市の考え方、本町が求められるものは。

林政課長 三鷹市はゼロカーボンシティ宣言をしており、二酸化炭素削減を全国的に取り組んでいきたい考えとのこと。友好都市である本町に植栽し、その分の二酸化炭素吸収量は三鷹市の実績となる。

有害鳥獣対策、イノシシ捕獲機器の増設
笹原委員 待望された機器等の大幅増設だが、実行する鳥獣被害対策実施隊との綿密な連携は取られているか。

林政課長 実施隊と協議し、管理できる量であるかも考えての増設である。今後も実施隊と連携しながら、捕獲量を増やしていきたい。



学校の裏山 地域一丸で再整備
鮎貝松ヶ丘教育の森管理会
半世紀近くに渡り地域に親しまれ、鮎貝小学校の「学校の裏山」となっている松ヶ丘教育の森の大規模整備を行っています。6月16日には、近隣地区住民、PTA等が一体となり、約80人で繁茂した熊笹等の下刈りが行われました。その後も見晴らしの眺望を妨げている樹木の伐採や、老朽化した橋の迂回路整備などが予定されています。

一般会計補正予算の主な内容

第2期健康と福祉の里構想推進事業 200万円
健康福祉センター改修に向けた追加の調査

地球温暖化対策再造林整備事業（三鷹市連携事業） 310万円
東京都三鷹市の負担金による本町での再造林

林業・木材産業循環成長対策事業 727万円
スギのコンテナ苗生産施設整備事業者への支援

有害鳥獣対策事業 493万円
イノシシ捕獲用ワナ等の物品購入支援など

交流推進事業 151万円
東京オリパラを契機とした中国との交流事業

コミュニティ助成事業 1750万円
コミセンの備品購入や分館建て替えへの助成

分館施設整備費補助金 420万円
各地区コミセン分館の施設整備への補助

低所得者支援及び定額減税補足給付事業 8974万円
定額減税一体措置への対応

農地利用効率化等支援事業 379万円
生産の効率化に向けた農業用機械の導入支援

ヤナ公園管理事業 100万円
増水で壊れたヤナ場の修繕費用

など、2億730万円を補正し、一般会計予算総額は94億7730万円となった。

◎財源は、国・県支出金、繰越金などで対応。

※万円未満は端数調整